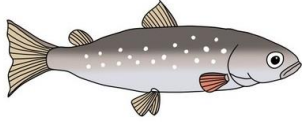




いぞおり

豊田南小学校 学校だより
令和4年度 第9号
令和4年8月29日
文責 教頭 (大場)



【2学期始業式 校長先生の話】 「鱒 (ます) と鯛 (たい) の違い」



長い夏休みの間、みんな元気になっているかな、病気になっていないかな、もしかしてけがでもしていないかなと校長先生はとても心配でした。でも朝、ポプラっ子の元気な顔、大きくなった姿を見ることができてうれしく思いました。

夏休みに入る前に、みなさんに「夏休みの間にできるようになったこと、分かったこと、解決した不思議があったら、先生に教えてくださいね。」とお願いしました。「こんなこと頑張ったよ。」「これに挑戦したよ。」ということがたくさんありましたか。ぜひ担任の先生に夏休みのできごとをいっぱいお話してください。

さあ、今日から2学期が始まりました。2学期は、1年生から6年生までどの学年とも行事がたくさんあって大変忙しい学期です。ですがそんな忙しい2学期も「自分から」を引き続き頑張っていきましょう。ポプラっ子一人一人が目標を決めてチャレンジしていくと思いますが、その目標を決めるときに意識してほしいことがあります。それはこの2つの魚に関係しています。

この魚、知っていますか。この魚は「鱒」と「鯛」です。目標を決めるにはこの「ます」と「たい」の使い方に気をつけてください。使い方によってはその人のやる気の伝わり方や意識・行動がずいぶん変わってきます。

例えば2人の子が、「毎日漢字書き取り1ページ」と決めたとします。目標にはAさんは、「毎日1ページ、書き取りをします。」と書いてあります。一方Bさんは、「毎日1ページ、書き取りをします。」と書いています。どちらがやる気を感じますか。「～したい」は、願いや希望です。「できたらいいな」という感じで、「できなかったら仕方ない」くらいの軽い気持ちとなり、強い決意での実行にもつながりにくいようです。一方、「～します」は、しっかりと実行することを言いきっています。

磐田市出身で、卓球の伊藤美誠選手は小学生の頃から「世界チャンピオンになる」と口にしていたそうです。去年の東京オリンピックで本当にそうになりましたよね。これは「なりたい」というより「なります」という強い気持ちが夢を実現したのですね。



このように「自分は絶対にできる」と思い込ませていくことで、強い意志と行動力が生まれるわけです。「～したい」ではなくて「～します」ですよ。

目標を単に掲げただけで終わるのか、責任を持って実行していくのか、まずは目標の言葉においてははっきりと言い切ることを意識して、本気度を見せていくことが大切です。

ぜひ2学期は「たい」を「ます」に変えて強い気持ちで生活していきましょう。自分の目標が、立てただけで終わらず、実行してさらには達成できるように本気で挑戦していきましょう。

2学期も頑張りましょう！

磐田市立豊田南小学校 校長 速水 徹

【お 願 い】

1 学校に忘れ物をした場合の対応について

学校に忘れ物をした場合、放課後だけでなく土日にも取りに来る御家庭があります。子供たちには、自分で考えたり、工夫したり、表現したりする力を身につけさせたいと考え、急を要するものでなければ以下のように対応願います。

- ① 忘れ物に気づいたらどのようにすればいいか考える。
例) 宿題 … 別のノートに書く。プリントの場合は、自分で他の課題を行う 等はし … 割りばし等で対応し、次の日持ち帰る。
- ② 忘れ物をしないよう、今後どうするか考える。
- ③ 忘れたことや、忘れたことによる対応（解決）法を自分で担任に伝える。

困ったときに、自分で課題や解決策を考え出し行動する力は、大人になっても必要となっていくと思います。「忘れ物をした＝取りに行けばよい」「家の人に何とかしてもらおう」ではなく、自分で考えて取り組むことができる子になってほしいと願っています。

最初は、保護者の皆様にお力添えをいただくことが多いこと、また、低学年は保護者の皆様に連絡ノート等を通して子供の代弁者となっていただくことがあると思います。お手数をおかけしますが、本趣旨を御理解いただき、御協力をお願いいたします。

なお、不明な点は、生徒指導主任（福川）までお問い合わせください。

2 学校の様子について

2学期も引き続きホームページに掲載していきます。
御覧ください。

<https://toyodaminami-e.city-iwata.ed.jp/>

